

里中哲彦著「英語リスニング能力を高める音読を始めよう」

英語の質問箱、Newspaper In Education、東京新聞、2011年3月刊を読む

## Q リスニング能力を高める

毎日のように CD で英語を聞いているのですが、聞き取れるようになりません。リスニング能力を向上させる効果的な方法はありませんか？

## A 音読をはじめよう

1. (1)リスニングを向上させるには、「音読」(声をだして英文を読む)をくりかえすのがいちばんです。  
  
(2)意外に思われるかもしれませんが、リスニング能力を高めるためには、まず口を鍛えることです。  
  
(3)自分で発音できない音は、聞き取ることもできません。  
  
(4)きちんと英語の発音ができなければ、ネイティブ・スピーカーの発音をとらえることはできないのです。
2. (1)トロイの遺跡を発掘したことで有名なハインリッヒ・シュリーマンは独学で 18 の言語を習得した語学の秀才ですが、外国語の学習の秘訣(ひけつ)として「ひじょうに多く音読すること」をあげています。  
  
(2)また“同時通訳の神様”との異名をとった國弘正雄先生は「只管(しかん)朗読」という学習法を唱え、「意味のよくわかる英文を繰り返し繰り返し、ひたすらに音読する」ことをすすめています。
3. (1)そこで、以下に具体的な方法を提案しましょう。  
  
(2)まず CD などネイティブ・スピーカーの発音を聞きながら、同じようにまねて練習を試みましょう。  
  
(3)次に、意味と構造のよくわかったその英文をくりかえし身にしみ入るように声にだしてくりかえし読みます。  
  
(4)それだけです。  
  
(5)こうして英文を音読しているだけで、英語を聞く耳が熟してきて、いつのまにかリスニングの力がついていることに気づくはずで

4. (1)ある時、國弘先生に「先生ご自身は、何回ぐらい音読をなさったのですか」とお尋ねすると、「中学生のときは、ひとつのレッスンにつき、500回から1000回は読んだよ」と平然とおっしゃいました。

(2)まさに「艱難(かんなん)汝(なんじ)ヲ玉ニス」ですね。

(3)音読がリスニングの向上に役立つことは、多くの英語の達人たちによって証明されています。

(4)ぜひ、音読をリスニング学習に取り入れてください。

[コメント]

3月に東京新聞に掲載された、翻訳家で、河合文化教育研究所研究員の里中先生の「英語の質問箱」のリスニング能力に関する勉強方法は、実に的<sup>まど</sup>を射ている、ものごとの本質を突いたもので、私も大賛成だ。自分で発音できない音は聞き取ることができない。その通りだと思う。私はこれに加えて、読んで意味のわからないことは聞き取ることが難しいとも考える。自分で発音でき、読んで意味がわかることは聞き取りやすいのではないか。そのためには、学校や予備校、学習塾で勉強した教科書やテキスト、問題集は、意味を確かめた上で何回も音読練習をすることが大事だ。また、自分で勉強した文章や英語も音読してみることが大事だ。國広正雄先生の「只管朗読」は、英語学習の真骨頂と私も考える。英語の先生はすべての生徒に音読をさせて下さい。今日から実行を。心からそう願う。

— 2011年5月24日 林 明夫記 —